

仲間の声

働く仲間のたすけあい 共済コーナー

個人賠償責任共済

年間掛金1,700円で

賠償額 2 億円

示談代行付

2026年4月1日効力開始の個人賠償責任共済の継続と新規募集の時期となりました。個人賠償責任共済は、通勤、通学の自転車、の賠償事故への対応はもちろん、「水漏れにより階下に損害を与えた」など、日常のくらしで突然起こってしまつ賠償事故にも対応。また「友人から借りたカメラを誤って破損した」など「受託品」（受託品）のうち、携帯電話・パソコン・100万円を超える物品、などなど対象外のものもあります。も対応です。

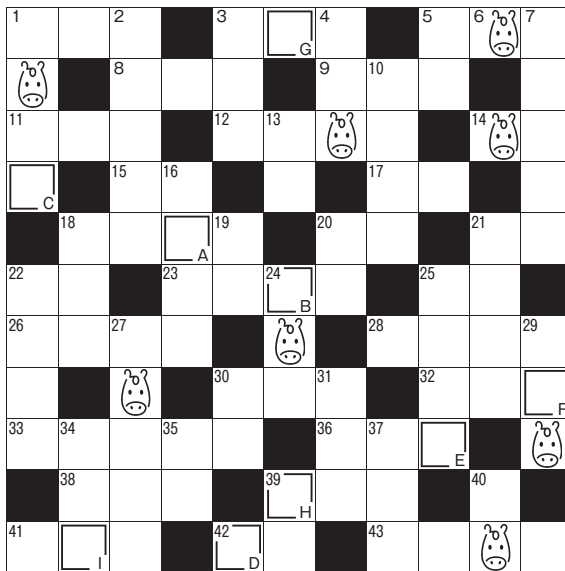
個人賠償責任共済の掛金は年間1700円。最高賠償額は2億円で、示談代行サービス付です。組合員本人の加入で、同居の親族と別居の未婚の子まで補償されます。

年1回の募集時期を逃さず、個人賠償責任共済の加入で、日常生活の賠償事故に備えましょう。

新春クロスワードパズル

ワク内に26年のエト（午年）にちなんであちこちに馬のイラストが入っています。その部分は意味に関係なくウマと読み替えてください。クロスを解いたのち、A～Iのアルファベット順に並べてできる言葉を答えてください。

ヒント：笑えは願いがかなう出題者：山本 汎昭さん



ワケのカギ

- 1 思い出が○○○○○のよう
- 2 他人に頼る心。○○○○○
- 3 競技などで優勝すること。全国○○○○
- 4 土佐の藩士坂本○○○○
- 5 貧すれば○○する
- 7 事がさし迫っていること。○○○○○を要する
- 10 枯れた木の枝
- 13 一寸先は○○
- 16 貸すことと借りること。金銭の○○○○○は禁止
- 18 トフ○○○・ハツカ○○
- 19 まだ改良の○○がある
- 20 バットは空しく○○を切った
- 21 にぶい痛み
- 22 生産・労働手段に機械を導入すること、農業の○○○○
- 24 ウナギを養殖すること。○○○○業
- 25 物事をする精力と根気。○○○○○
- 27 その化石を最初に研究したナウマンにちなんで命名された象
- 29 トラとウマではなく精神的な外傷
- 30 カギ。車の○○。○○ス
- 31 私利○○○に走る
- 34 美辞○○○を並べたてる
- 35 ○○○女共同参画

「コ」のカギ

- 1 あらうて大きいこと。○○○○
- 3 ○○○整頓
- 5 旅行などで貴重品を入れる腹巻き仕様のウエストポーチ
- 8 衣類を身につけていない状態
- 9 虫の知らせ。不吉な○○
- 11 ラグビーでこれで5得点入る
- 12 入学の年が1月から4月1日までに生まれた子どものこと
- 14 かば焼きの鰻を芯に巻いた卵焼き
- 15 奈良公園の人気動物
- 17 エコロジの略
- 18 年の初め、年始、年頭
- 20 酔って○○をまく
- 21 3位で○○メダルを獲得
- 22 心に深い○○を負う
- 23 花と鳥。○○○○風月
- 25 百の十倍
- 26 地震○○○○火事親父
- 28 機知、機転。○○○○に富む
- 30 駐車○○○、立入○○○
- 32 カメの背中はコレがついている
- 33 暦（こよみ）、七曜表
- 36 金銭を金融機関に預けること
- 38 反対意見、異議。誰も○○○はない
- 39 複利法で計算された利
- 37 紙を切り抜いて形を作り出すもの
- 39 人の○○見てわが○○直せ
- 40 西洋風のへや。洋室

10月号の解答 「クリゴハン」

エ	カ	キ	ベ	イ	コ	ク
ン	カ	チ	ヨ	ト	ン	ン
ハ	イ	キ	ユ	ウ	ハ	イ
ガ	ソ	ウ	ユ	ウ	ゴ	リ
ア	イ	コ	マ	シ	ク	ク
シ	タ	チ	マ	シ	ク	ク

10月号の正解と当選者
2025年10月号「クロスワードパズル」の正解は「クリゴハン」でした。各職場からハガキ6通、メール50通合計56人から回答をいただきました。つぎの5人のみなさんに図書カードをおくります。（敬称略）

▼賞作有希子（堺市職労）
▼岸 博和（泉佐野市職労）
▼大原 陽子（交野市職労）
▼平田 玲子（寝屋川市職労）
▼宮嶋 督高（吹田市職労）

応募の方法
「解答」「所属組合名」「氏名」「住所」を書いて、メールかほかで送ってください。紙面の感想、職場のできごとや近況などを一言書き添えていただければうれしいです。正解者の中から10人に図書カードをおくります。

なお、送っていただいた一言は「仲間の声」として紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

送付先
〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目13-15 大阪グリーン会館4階 大阪自治労連「おおさか自治体の仲間」編集部
nakama@osaka-jichiren.jp
応募の締め切り／2月28日
正解と当選者の発表／2026年3月号の紙面に掲載

「維新は大阪のまちの姿を どう変えるのか」

（第28回おおさかの自治体学校）



「人と人とのつながりを取り戻していこう」との発言も

大阪自治体問題研究所は12月21日、「第28回おおさかの自治体学校」を大阪市内で開催し、住民や自治体職員など約80人が参加しました。

記念講演で講師の中山徹さん（自治体問題研究所理事長・奈良女子大学名誉教授）は「維新は大阪をどうしようとしているのか」と題して、講演。「維新政治による規制緩和と民間主導の開発で大阪経済が落ち込み疲弊している。支持率も低迷する維新が局面打開で「副首都構想」を打ち出し、3度目の住民投票を狙っているが、大阪経済は改善しない。もつと地域の歴史や文化的な蓄積を大切に、元気な地場産業になる政策が必要である」と厳しく指摘しました。

その後、各分野から「特区民泊の現状と運動」「枚方駅前再整備計画の白紙撤回を求める運動」「府が進める南河内の合併問題」「水道の広域化問題」「自治体DXと住民のくらし」「夢洲の最新情報」など、職場と地域から維新政治とのたたかいを報告しました。

引き続き、「おおさか自治体まるわかり研究会」を再開し、夏に開催される「自治体学校in大阪」（7月11・12日）の成功をめざして、自治体をめぐる諸問題を住民とともに考え、地方自治がいきる自治研究活動を進めていきます。

情報ひろば 仲間の声

■毎月クロスワード楽しみにしています。インフルエンザが流行ってるニュースを見て、「自分が最後にいつかかったかな？」と心配しています。小さい子どもがいるので余計に心配です！

文野 愛さん（岸和田市職労）

小西 素子さん（堺市職労）

■1年かけて元幼稚園園舎に調理棟や足りない保育室の増築をしています。先日のぞいてみると、瓦礫や土に囲まれ、栗が実っていました。園児と栗のパウンドケーキを食べた時のことを思い出しました。

木村 佳代さん（門真市職労）

西田 美香さん（大阪市労組）

■7年空いて、5人目の孫ができました。可愛すぎます。

森川 洋さん（堺市職労）

■最後のページ（8面）の他、「おおさか自治体の仲間」の話はいつも楽しく見させていただいています。ありがとうございます。

赤井 昭太さん（吹田市職労）

